

いわき湯本病院

正木 稜人（リハビリテーション部 / 理学療法士）

功 績 入職2年目という若手でありながら、患者さんの尊厳と心に深く寄り添ったリハビリと真摯な関わり、ご家族への細やかな配慮（動画提供等）を実践。患者さん・ご家族双方から絶大な信頼と感謝のお手紙をいただき、病院の信頼向上に大きく貢献した功績。

推薦者氏名 荻津 明 （ リハビリテーション部長 ）

推薦理由 入職2年目という若手でありながら、自身の技術や日々の業務にとどまらず、患者さんの状態変化後も毎日欠かさずベッドサイドに寄り添い続け、ご家族の想いを汲み取った動画提供など、心に寄り添う真摯な姿勢がご遺族からの格別な感謝のお手紙（奥様・ご長女様より各1通、計2通）に結実いたしました。「湯本病院を転院先とした選択を正しいと思わせてくれた」と心から思っていただけの医療の提供は、健育会グループの理念をまさに体现するものであり、若手職員のみならず全職員の模範として理事長賞に相応しいと考え推薦いたします。

内 容

このたび理事長賞の候補者として、リハビリテーション部の療法士である正木（入職2年目）を推薦いたします。正木は若手でありながら日頃から患者さん一人ひとりの尊厳を第一に考え、常に温かい笑顔と真摯な姿勢でリハビリ業務に従事しており、患者さんやご家族だけでなく多職種からも厚く信頼されています。

当院に入院されていた患者のM様のリハビリを担当した際、正木は熱心に機能訓練に取り組むだけでなく、朝夕の声かけを欠かさず行い、深い信頼関係を築きました。患者さんは正木の声を聞くだけで遠くからでも手を挙げて笑顔になられるほど慕われておりました。リハビリの実施が困難な状態になられてからも、正木は毎日欠かさずベッドサイドへ足を運び、温かな励ましとお声がけを続けました。また、ご家族にリハビリで頑張るお姿を動画でお見せし、ご家族からDVDを要望されたときにはすぐに上司に相談しDVDとしてご提供するなど、患者さんにご家族の絆を支えるための細やかな心配りを実践いたしました。

患者さんが旅立たれた後、ご遺族より病院宛てに感謝のお手紙が届きましたが、その中に「担当して下さった療法士の先生へ」と、奥様とご長女様からそれぞれ別々に、正木個人宛ての特別なお手紙が添えられておりました。手紙には、「父にとって正木さんとの出会いは人生最後のすてきな出会いだった」「プレゼントしていただいたDVDは今でも父に会える大切な宝物」「湯本病院を転院先とした選択を正しいと思わせてくださる存在だった」と、溢れんばかりの感謝の言葉が綴られておりました。

まだ経験年数の浅い2年目でありながら、自らの職務の枠を超えて患者さんやご家族の心に寄り添い、当院を選んでいただいたことへの誇りと安心感を提供した正木の姿勢は、健育会の理念を具現化したものであり、理事長賞にふさわしいと考えます。